

フィールドに立つ読書科学

実践のフィールドに立つ研究の味わい、方法



日時

2026年3月22日(日)
15:30~18:00

会場

オンライン

参加費

無料

どなたでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしています。

話題提供

宮澤 優弥先生(東洋大学)

フィールドで出会った人、フィールドに駆り立てた言葉、フィールドに必要なモノ

これまでの調査研究の経験を「人・言葉・モノ」を鍵概念としながら、アカデミックな社会や読書に関わる文化を描き出す(オートエスノグラフィ的な)講演を予定しています。みなさんとの質疑応答を通して、対話的・再帰的な場を構築できれば幸いです。

新居 池津子先生(清泉女子大学)

メガネをかけてフィールドを見つめなおす

読書という個人的な営為を解明しようとするフィールド研究が単なる事例の列挙に終始しないようにするためにはどうしたらよいのでしょうか。ここでは、焦点(観点)と度数(水準)を定めて、より鮮明に映し出させてくれるメガネというメタファーを使って、フィールドを見つめなおすことについて皆さんと考えてみたいと思います。

参加申込

下記の URL あるいは QR コードよりお申し込みください
申込期限 3/22(日)正午まで

<https://forms.gle/GhAgN6sj1tGv2Xkg9>

連絡先 k-nikata@kanazawa-bidai.ac.jp(担当 荷方邦夫)

